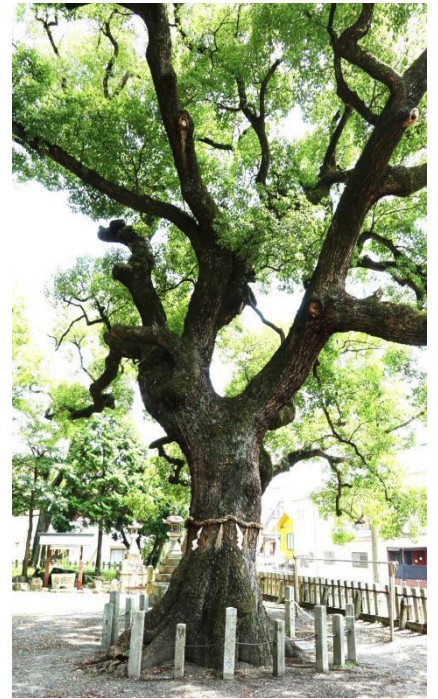


「大同町駅から大江川緑地を経て本星崎駅」

実施日：2024.09.19



連日 35.℃を超える猛暑日・警戒アラートのスマホ画面を見るのが習慣になりました。例年 8 月の定例会はお休みですが、この様な猛暑日が 9 月も続くのであれば、今後はお休みがバターかも知れません。

体力気力が低下している高齢者には四六時中クーラーの屋内生活ではストレスが溜まり鬱(うつ)状態になります。さわさりながら、こんな状態から解放されるには、やはり仲間との交流とリハビリWが必要です。

①大同町駅から大江川緑地へ

名鉄金山駅改札口に 9 時 10 分、男性 6 名女性 10 名の有志が集まりました。

9:19 準急中部空港行きに乗車して大同町駅に 9:28 に下車。

夏の日差しが照りつける市道を北に向かい常滑線沿いの名もない小さな神社に寄道をし、石の鳥居をくぐり抜けて参道を辿り社殿に向かい首を垂れて安全Wを祈願しました。

周りは袋小路の新興住宅とアパートに囲まれ、その脇を高架橋の電車が頻繁に交差し通り抜けて行きます。

その先を見上げれば、照りつける青空の下には中電研修所、電柱に登り、この暑さの中、研修する姿を垣間見る事ができました。

やがて大江川緑地の入口に至れば、左手には広い河口の大江川を眺め、右手には森に覆われた大江川緑地を見る事になります。

②大江川緑地

以前は大江川は運河の機能を持っていましたが、伊勢湾台風による貯木場の堤防決壊による被害や、周囲の環境の変化により、南側の大同特殊鋼工場・三井化学工場・大型パチンコ店などに変わり、北側は市営住宅地に変わりました。また川には工場生活排水が流れ込み水質が汚染された事で地元住民からの要望で 1980 年頃より上流側が 1.8km 埋め立てられ、池や、人工溪流・芝生広場・サイクリングロードが造られました。

40 年も経ち植栽樹木は成長し、緑の樹木のトンネルは陽射しを遮り心地良い風が肌とシャツのすき間を通り抜けて心地良い秋を幾分感じる事ができました。

サイクリングロードと散策遊歩道を兼用した道には黄色の中央分離帯の表示がされているが、横に広がり、縦に伸びたりリハビリWはのんびりゆったり散策です。人工池ではのんびりカルガモが 20 羽程三々五々とのんびり泳ぐ姿をベンチで眺めれば、尚一層のんびりゆったりモードになります。トップグループから催促の Tel があり、重い腰を上げて「ヨツコラショ！」



③星宮社の言われ

国道 R1 の横断歩道橋から星宮社の鎮守の森眺めれば、かつての星崎岬をイメージする事ができます。想像逞しくすれば現在の大規模工場群と市営住宅に囲まれた街並みは、白砂青松の海岸線と千竈の煙がたなびく製塩の浜辺、尾張名所会図を思い出します？

暗渠排水になった中井用水の散策道を辿り、小さな石の太鼓橋を渡れば星宮社です。

小高い丘の石段を上り拝殿・本殿を前にして二礼二拍手一礼により安全Wの祈願。

その後、参道石段で定例の集合写真をプロカメラマンに撮影していただきました。

ところでウィキペディアによれば、星宮社は舒明天皇 593 年の創建との事。熱田神宮の知我麻神社の御旅所として現在の笠寺小学校の丘陵地に在ったが、城か砦を造るために織田信長の命により現在地に遷座したそうです。

名の由来は文政 5 年 1822 年に隕石が笠寺丘陵に落下し、それにより星の宮社になったそうです。それ以前は熱田神宮の知我麻神社の関係が深く、千竈神社と呼ばれていたらしい？

④金山駅 2F の魚干物定食屋でランチタイム

星宮社でロングコース+7km の希望者を確認したところ、豪のWの方は一人も見えず全員、本星崎駅 11:28 発の名鉄に乗車して、金山駅で自由解散にしました。

5 人に分かれたグループは、最近開店した居酒屋風の店で「きんきの干物定食」は 1100 円でコスパが良く大変美味しく頂きました。

ただ、「卵掛けご飯」がこの店のウリであるのか、特別に卵掛け醤油が用意されており、生卵付きです。どうしても良い事ですが、咀嚼回数が少なく消化も悪くなる事を考えれば高齢者にはお勧めできません。小生は味噌汁に生卵を入れてマイルドな味噌汁に仕立てました。

戦後の食料不足を経験したガキの頃の「モッタイナイ精神」が染み付いており魚の骨のみ残し、皮も背びれもすっかり頂きました。周りから、あまりにも綺麗な皿を覗て誉められるやら、呆れるやら？ 店が混んできたので早々に退散し、お腹が膨れ気分爽快で多少元気になりました。

本願寺町の我が家まで神宮東公園を横切って、雁道経由のWで 13 時半過ぎに帰宅。

因みにスマホ歩数計では総歩数 14,000 歩・歩行時間 2:15 ・歩行距離 10.0km でした。

(写真提供：北川健一)

